

長崎県議会議員 深堀ひろしだより

第1号

元気な

よかけん

街 創る

平成23年8月発行
発行責任者／深堀ひろし

背景：結の浜マリナーパーク（諫早市）

— どういそつ —

この度、統一地方選挙におきまして、
長崎県議会議員（長崎市選挙区）
に初当選をさせていただきました。

新人なすではの敬い、選挙となりまいたが、
多くの方よりご支援を賜り、念願の当選を
果すことが出来ました。

あらためて感謝と御礼を申し上げます。
ありがとうございます。

思えば、市議1期4年の短い経験しか
ない私が、県議選に挑戦することは
「無謀な挑戦だ」という不安を抱かす方も
多かったのは事実です。

しかし、疲弊した長崎の街を活性化させ
るため、そして明るく安全安心な政郷にするため、
将来の子供たちが長崎に生まれ、良かれに思え
るような政郷にいっていくためには、逃げ足はいけな

いう強い意思を持ち、戦いに挑みます。このが、その想いと実現するために前進あるのみです。

さて、先般6月に甚大な被害を受けた大船渡市と陸前高田市に、災害ボランティアとして
行ってきましたが、実際に自分自身の目と耳で確認した被災地は想像をはるかに超える
悲惨なものでした。そのような状況でも、希望を失わず、明るく元気に頑張っておられる
被災者の方々と触れ合い、あらためて一刻も早い復興・復興のために国民全員が総力を
結集しなければならぬと感じました。それぞれの立場で出来ることは異なります。

私も微力ではありますが、県議会議員として出来る限りの活動を行っていく所存です。
「がんばろう日本」と合言葉に、オールジャパンで頑張ります。

最後になりますが、初当選という時の感動、そして政治を志すに当初の情熱と常に
念頭に置き、政治活動に精進する覚悟でございますので、今後とも皆様のご指導、
ご支援をお願い申し上げます。

深堀 ひろし





平成23年6月 長崎県議会定例会 レポート



平成23年4月30日に長崎県議会議員に就任しましたが、5月13日に臨時議会が召集され、議長・副議長選挙と常任委員会の委員決定・特別委員会の設置等を行いました。

ご存知の方も多いと思いますが、長崎県議会としては初となる連立会派(改革21、自民党・新生長崎)が誕生しました。

私が所属している会派:改革21(民主党:11名・無所属:2名・社民党:1名)を中心とした連立会派ですが、なぜ連立したかと言えば、旧態依然とした県政に別れを告げ、低迷する長崎県に活力を取り戻すため、県議会・県行政を一から改革していくことを理念に結集したものです。

これまでの県議会とは大きく異なる動きであり、県民の皆様のご期待に応えられる連立会派となるよう取り組まなければなりません。決して数合わせと見られるような烏合の衆ではなく、きっちりと政策提言を行い、実践していきますので、ご期待ください。

この連立会派の誕生により、私もいきなりではありますが、文教厚生委員会の副委員長という大役を拝命しました。

県議会の運営をよく理解していない私としては、非常に重たい職務ですが、新人議員ならではの新たな発想で取り組んで参る所存です。

また、特別委員会では、経済雇用・災害対策特別委員会にも参加させていただくことになり、深刻化する経済・雇用問題と東日本大震災への支援と間接被害の問題、更には原子力発電所に対する防災計画など多岐に渡る審議を行うことになりました。

九州電力出身の私としては、原子力問題については誰よりも責任と思い入れがあり、志願して参加させていただきました。公平公正な立場で、是々非々の審議を行って参ります。

次に、定例議会の報告をさせていただきます。

6月定例議会は、6月27日から7月19日までの23日間、開催されました。

主な議案は、東日本大震災に対応する経費を中心とした一般会計補正予算約24億5482万円や長崎県高校生修学支援基金条例の一部改正などの条例改正議案など37議案を原案通り可決、承認、同意しました。

また、最終日には、「ウイルス性肝炎患者の救済」や「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める五つの意見書と「石木ダム建設推進に関する決議」を採択いたしました。

これらの意見書・決議については各議員それぞれの考えもあり、すべてが全会一致ということではありませんが、長崎県の発展と県民の皆様の安全・安心を守るために、健全な議論を展開していきます。

平成23年度6月補正予算の主な内容

◎東日本大震災に対応する経費……………6億6400万円

1. 被災者・被災地に対する支援……………3億8000万円

①被災地の復興に向けた現地における支援(1億3500万円)
県職員・社協職員等派遣、環境・新エネルギー製品等導入支援等

②被災者の受け入れ等本県における支援(2億4500万円)
児童生徒授業料等減免、被災者一時貸付、緊急雇用、インターンシップ、「長崎」ふれあい体験等

2. 震災の影響に伴う緊急的な経済対策……………1億4500万円

①観光・物産における新たな需要の喚起(8500万円)
離島国際航路・航空路、東アジア新市場拡大、東アジア「ながさきブランド」緊急発信、ロングスティ等

②水産業の緊急対策(5200万円)
カキ人工種苗実証化、輸出水産物放射能検査等

③省エネ・節電対策(800万円) 節電・省エネ推進等

④中小企業対策(制度拡充) 低利融資制度の創設

3. 震災のリスク対策を通じた県内産業の振興……………1億3900万円

①生産拠点等の移転に対応した企業誘致対策(1600万円)
企業誘致特別強化対策、新工業団地開発調査等

②新たな需要に対応する地場産業活性化対策(1億2300万円)
地場取引拡大支援、東北・長崎水産加工連携、省エネアドバイザー、中小企業競争力強化、生産基盤等確保等

◎その他緊急を要する経費……………17億9100万円

防災対策、緊急雇用基金、ふるさと雇用基金、不法投棄調査、「孫文・梅屋庄吉と長崎」発信等

条例議案の主な内容

○長崎県税条例の一部を改正する条例(税務課)

東日本大震災の被災者等の負担の軽減を図るため、地方税法の改正等に伴い、所要の改正をしようとするもの。

○長崎県高校生修学支援基金条例の一部を改正する条例(学事振興室)

国の「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」を長崎県高校生修学支援基金に受け入れることに伴い、同基金の設置目的を追加しようとするもの。

○第69回国民体育大会運営基金条例の一部を改正する条例(大会総務課)

第69回国民体育大会及び第14回全国障害者スポーツ大会の両大会に係る募金の開始及びその受入れを行うに当たり、条例の名称及び目的に第14回全国障害者スポーツ大会を追加しようとするもの。

○長崎県営住宅条例の一部を改正する条例(住宅課)

県営住宅の全ての入居決定者に求めている連帯保証人について、特別の理由があると認められる場合に限り免除するため、所要の改正をしようとするもの。

事件議案の主な内容

○和解及び損害賠償の額の決定について(福祉保健課)

佐世保こども・女性・障害者支援センター職員が、公用車を運転中に発生した交通事故について、和解し、損害賠償を行おうとするもの。

○和解及び損害賠償の額の決定について(漁業取締室)

漁業取締船が、佐世保市が設置管理している黄色沈船標識ブイに衝突し、損害を与えた事案について、和解し、損害賠償を行おうとするもの。



文教厚生委員会報告

委員会では白熱した議論が交わされました。これまでの市議会とはひと味違う県議会です。数多くの審議がありましたが、特筆する項目としては、

○「つくも苑(旧県立コロニー・佐世保市)」の施設整備

長年にわたり懸案となっていたため、施設の老朽化が著しく、早急な対応策を講じる必要があるため、今年度中に解決を図ることを確認するとともに、早急に地元住民の皆様と協議を行う場を設けることを要請しました。

○長崎がんばらんば国体の会場選定

殆どの競技種目の開催地が決定している中、広大な敷地を要する馬術競技の開催地が未だ決まらない状況にあり、このままでは円滑な競技に支障を来すことから、競技団体を交え、意見交換を実施しました。

○長崎県立図書館の再整備

県立図書館の再整備については、有識者からなる再整備検討会議で審議され、3月末に答申が出されました。答申によれば、建設場所を1か所に絞ることが出来ず、長崎市(常盤・出島地区交流拠点用地)と大村市(大村警察署跡地周辺又は市民体育館跡地)を候補地として提案されています。

私が質疑をして残念だったのは、「長崎市立図書館建設時(H20.1開設)に県立図書館と共同で設置するという考え方を協議しなかったのか」という質問に対して、「そのような考え方は、当時は持っていなかった」という回答でした。今般の再整備検討会議でも「県立と市立を共同で設置することにより、お互いの役割分担をより明確にし、一体となって住民の利便性を向上させるという新しい発想に基づく図書館の在り方が考えられるのではないか」という意見も出ていたのです。今更の議論になるのですが、4年前にこのような議論が出ておれば、今日のような誘致致戦的な混乱にはならなかったと思えてなりません。

常任委員会・議会運営委員会並びに特別委員会委員名簿

平成23年7月19日現在

委員会	委員長	副委員長	委 員									
総務委員会 (12名)	山口 初實	小森 明人	橋村松太郎	楠 大典	溝口芙美雄	江口 健	中島 廣義	浅田眞澄美	山田 朋子	前田 哲也	友田 吉泰	中島 浩介
文教厚生委員会 (12名)	山田 博司	深堀 浩	小林 克敏	吉村 庄二	織田 長	高比良 元	外間 雅広	堀江ひとみ	中村 和弥	金澤秀三郎	山本 啓介	松本 洋介
環境生活委員会 (11名)	野本 三雄	高見 健	三好 徳明	田中 愛国	中山 功	渡辺 敏勝	高比良末男	瀬川 光之	徳永 達也	末次 精一	浜口 俊幸	
農水経済委員会 (10名)	松島 完	久野 哲	加藤 寛治	八江 利春	馬込 彰	坂本 智徳	下条ふみまさ	陣内 八郎	西川 克己	川崎 祥司		
議会運営委員会 (13名)	末次 精一	高比良 元	田中愛国	馬込 彰	小林克敏	溝口芙美雄	渡辺敏勝	江口 健	瀬川光之	徳永達也	久野 哲	山口初實
予算特別委員(45名)	中山 功	浜口 俊幸	議長、正副委員長を除く全議員									
離島・半島地域振興特別委員会 (9名)	浜口 俊幸	中島 浩介	三好 徳明	中山 功	楠 大典	坂本 智徳	山田 博司	陣内 八郎	山本 啓介			
経済雇用・災害対策特別委員会 (10名)	高比良末男	浅田眞澄美	加藤 寛治	野本 三雄	織田 長	外間 雅広	堀江ひとみ	前田 哲也	深堀 浩	松本 洋介		
アジア・国際戦略特別委員会 (11名)	西川 克己	川崎 祥司	八江 利春	橋村松太郎	下条ふみまさ	高見 健	中村 和弥	山田 朋子	松島 完	小森 明人	友田 吉泰	
県議会・県政改革特別委員会 (15名)	高比良 元	松島 完	馬込 彰	小林 克敏	吉村 庄二	橋村松太郎	高比良末男	江口 健	瀬川 光之	山田 博司	堀江ひとみ	中村 和弥
			金澤秀三郎	前田 哲也	山本 啓介							

会派視察

6月15日(水)～16日(木)
(視察:松浦市及び玄海町)

松浦市の防災対策の現状と課題について友広松浦市長と意見交換を行い、地元の要望事項も聴取しました。その後、玄海原子力発電所を訪問し、震災後の安全対策への取り組み状況を確認するとともに、3号機・4号機のタービン建屋や使用済み燃料プールも見学しました。

また、県内で玄海原子力発電所に一番近い鷹島町に宿泊し地元の方々との交流や鷹島の歴史についても学びました。



松浦市長との意見交換



玄海原子力発電所



玄海原子力発電所の安全対策等について

今議会では、福島第一原子力発電所の事故をうけ、長崎県に隣接する玄海原子力発電所の安全対策や2・3号機の再稼働に関する質疑が集中的に行われました。

主な議会の取り組みとしては

- 6/8 国に対し「原子力発電に係る安全対策強化などを求める意見書」の採択
- 7/5 国・佐賀県・九州電力㈱に対する「九州電力玄海原子力発電所の再稼働に係る緊急決議」の可決
- 7/13 総務委員会における集中審議

これらの取り組みは、原子力発電所に隣接する地域として、安全対策の強化を求めると同時に、不安を抱かれている隣接自治体・住民の声を反映できる体制を求めているものです。



出陣式

たくさんの支援者に
囲まれ9日間の
選挙戦へ
いざ出陣！

街頭演説

雨の日も風の日も
一步一步



県議会議員候補

深堀ひろし



写真で振り返る 長崎県議会議員選挙

応援してくださったみなさん
本当にありがとうございました！

個人演説会

長崎を元気なよか街に！



早朝手振り

おはようございます
ご安全に

総決起集会

入りきれないほどの
超満員！
ありがとう
ございました



被災地ボランティア報告

厳しく辛い状況の中でも、笑顔を絶やさず元気に
暮らしている被災者の方々から、逆に元気をもらっ
たような気がしました。

我々に出来ることは、まだまだあると思います。
頭で考えるだけではなく、実行あるのみ。



ちよと
ひとと
息

今回の定例議会を振り返
ると、原子力問題一色であり
ました。

九州電力出身の私として
は、針のむしろ、ほろ苦い初
定例議会です。

議会後の連立会派懇親会の席上、他会派の大先
輩議員が私の肩をたたきながら「深堀君、今回は大
変やったね！でも考えて見れば、初議会がこれほ
ど厳しかったら、次からは楽なもんだよ、そうだよ」
という声をかけていただきました。

この一声に、次も頑張るぞ！という気持ちが燃
え上がりました。

大先輩、ありがとうございました。



ご相談は
お気軽に

長崎県議会議員

深堀ひろし

(連絡所)

長崎市城山町3-19

TEL/FAX 095-800-3780

*インターネットでも深堀ひろしの活動報告をご覧いただけます

<http://www.fukahorihiroshi.net/>

